

## 4 チェックリスト

事業所の活動状況をチェックし、できている項目に○をつけましょう。  
また、数か月～1年後に振り返り、あらためて確認してみましょう。

○の数	○の数
個	個

環境配慮の視点	チェック項目	1回目	2回目
低炭素で持続可能な地域をつくる	クールビズ・ウォームビズに取り組み、エアコンの設定温度を控えめにする、昼休みや残業時の不用照明を消灯するなど、省エネに努めます。		
	省エネ型の照明や事務機器、高効率機器を導入し、エネルギーの効率的な利用に努めます。		
	省エネ診断を活用し、事業所や工場等のエネルギー使用量の把握・管理と使用削減に努めます。		
	事業所や工場等の新築・改築時は、壁材等の断熱や屋上・壁面緑化等に努めます。		
	生産ラインの省エネ化や省資源化を図ります。		
	熱管理・熱源設備や電力利用設備の改善・改良など、熱利用効率の向上に努めます。		
	省エネ製品の開発・製造に努めます。		
	太陽光発電などの再生可能エネルギー設備の導入に努めます。		
	RE100プロジェクトや再エネ100宣言 RE Actionへの参加に努めます。		
	CO <sub>2</sub> 排出量の少ない電気を選ぶなど、再生可能エネルギーの利用に努めます。		
自社で決めた内容を追加してみよう	地元のエネルギー、原材料を使用します。		
	公共交通機関や自転車などを利用したエコ通勤を推奨します。		
	電気自動車などの低公害車を導入します。		
	車利用時はエコドライブを実践し、自動車の適正な管理と使用削減に努めます。		
	従業員の熱中症対策に取り組みます。		
	敷地内や周辺の緑化に努めます。		
	植栽時は、鳥類や昆虫類の生息空間となるよう樹種等の選定や配置を行います。		
	生物多様性に配慮した事業活動を行います。		
	製造過程で出る廃棄物の減量化や再生利用に努めます。		
	ごみの分別排出を徹底し、リサイクルを推進します。		
効果的・効率的に資源を循環する	社内の備品には使い捨てプラスチック製品をできるだけ使用しません。		
	従業員にマイボトルの持参を推奨します。		
	紙の使用量を把握し、資料のデータ化、両面印刷や裏紙利用など、紙の使用を減らします。		
	過剰包装の削減を徹底します。		
	プラスチックごみがなるべく出ない、繰り返し・長く使える・自然に還る製品の開発・製造・販売・利用に努めます。		
	再利用可能な製品の開発・製造に努めます。		
	生ごみは分別を徹底し、エネルギーとしてリサイクルを行います。		
	食品ロスを出さないように製造・販売計画を見直し、余剰食品はフードバンクへ寄附します。		
	節水機器の導入や、雨水利用、循環利用など、水を効率的・循環的に使用します。		
	廃棄物の管理や適正処理を徹底します。		
健全で快適な暮らしを確保する	環境を保全するための管理体制を構築し、規制を守るとともに汚染物質の排出を抑制します。		
	有毒物質の使用を控える、有害物質が含まれない製品の供給に努めます。		
	化学物質の適正な管理を行います。		
	不要物や廃棄物の野積みや放置はしません。		
	施設や敷地周辺の美化に努めます。		
環境共生の価値観と知恵をはぐくみ、行動する	夜間の照明に配慮します。		
	環境保全に積極的に取り組む取引先から調達を行います。		
	環境マネジメントシステムを導入するなど、環境保全のための体制づくりや仕組みづくりに取り組みます。		
	社内・社外で環境学習の機会をつくります。		
	地域の環境保全活動や市が実施する施策に積極的に協力・参加します。		

## 1 環境配慮指針とは

私たちの生活環境や自然環境は、普段の行動や活動と密接に関わりあっています。私たちが環境に配慮できることは、その目的や視点、事業シーンによってさまざまです。

本市が目指す「豊かな自然と人がはぐくみ 次世代につなぐ『環境先進都市 とよはし』」の実現に向けて、市民や事業者が環境に対する意識を少しでも高め、それぞれの立場や自らの考えのもとで自主的かつ積極的に行動していくことがとても大切です。

「環境配慮指針〈事業者編〉」では、事業者のみなさんが事業活動を行う上での環境配慮の考え方や、さまざまな場面で実践できる具体的な行動を示します。

## 2 環境配慮の基本的な考え方

【基本理念】ともに変わろう 地球と私たちの未来のために

【環境像】豊かな自然と人がはぐくみ 次世代につなぐ「環境先進都市 とよはし」

### I. 低炭素で持続可能な地域をつくる【気候変動対策】

省資源・省エネルギーを実践し、低炭素型の事業活動を行います。

### II. 豊かな自然を守り育てる【生物多様性・自然共生】

生物多様性とその恵みを理解し、地域の自然環境の保全に協力するとともに、自然と人が共生できるような事業活動を行います。

### III. 効果的・効率的に資源を循環する【資源循環】

ごみになるものを減らす「リデュース」と繰り返し使う「リユース」を心がけ、ごみが出た場合は分別し、「リサイクル」を実践する、環境にやさしい事業活動を行います。

### IV. 健全で快適な暮らしを確保する【生活環境保全】

地域の環境と調和した快適な生活が維持されるような事業活動を行います。

### V. 環境共生の価値観と知恵をはぐくみ、行動する【環境学習・行動】

地域の環境へ関心を高め、理解を深めるとともに、他の主体と協力し、環境学習の場や機会の提供、地域の環境保全活動などへの積極的な協力を行います。

#### 〈環境基本計画との関係〉

「第3次豊橋市環境基本計画」は、本市の環境の保全に関する長期的な目標及び施策の方向を定め、総合的かつ計画的に施策を推進するために市が策定するもので、「市民」「事業者」「市（行政）」を推進の主体としています。「環境配慮指針」では、計画で定めた環境目標ごとの基本的な考え方や、掲げた施策に対する市民や事業者の行動例を指針として示しています。

### 3 環境に配慮した事業活動の例

環境の保全について、事業の中で環境に配慮できる活動の例を、事業場面ごとに紹介します。

【環境像】 豊かな自然と人がはぐくみ 次世代につなぐ 「環境先進都市 とよはし」

#### 建物・設備等における配慮

##### 建物・設備

- 省エネ型の照明や事務機器、高効率機器を導入し、エネルギーの効率的な利用に努めます。
- 事業所や工場等の新築・改築時は、壁材等の断熱や屋上・壁面緑化等に努めます。
- 熱管理・熱源設備や電力利用設備の改善・改良など、熱利用効率の向上に努めます。
- 太陽光発電などの再生可能エネルギー設備の導入に努めます。

##### 敷地

- 敷地内や周辺の緑化に努めます。
- 植栽時は、鳥類や昆虫類の生息空間となるよう樹種等の選定や配置を行います。
- 不要物や廃棄物の野積みや放置はしません。
- 施設や敷地周辺の美化に努めます。
- 夜間の照明に配慮します。

##### オフィス

- クールビズ・ウォームビズに取り組み、エアコンの設定温度を控えるにする、昼休みや残業時の不用照明を消灯するなど、省エネに努めます。
- 省エネ診断を活用し、事業所や工場等のエネルギー使用量の把握・管理と使用節減に努めます。
- ごみの分別排出を徹底し、リサイクルを推進します。
- 社内の備品には使い捨てプラスチック製品をできるだけ使用しません。
- 節水機器の導入や、雨水利用、循環利用など、水を効率的・循環的に使用します。

#### 事業活動における配慮

##### 調達

- 地元のエネルギー、原材料を使用します。
- 環境保全に積極的に取り組む取引先から調達を行います。

##### 開発・製造・生産

- 生産ラインの省エネ化や省資源化を図ります。
- 製造過程で出る廃棄物の減量化や再生利用に努めます。
- 有毒物質の使用を控える、有害物質が含まれない製品の供給に努めます。
- 化学物質の適正な管理を行います。
- 省エネ製品の開発・製造に努めます。
- 再利用可能な製品の開発・製造に努めます。
- プラスチックごみがなるべく出ない、繰り返し・長く使える・自然に還る製品の開発・製造・販売・利用に努めます。

##### 販売・供給

- 食品ロスを出さないように製造・販売計画を見直します。
- 生ごみは分別を徹底し、エネルギーとしてリサイクルを行います。
- 余剰食品はフードバンクへ寄附します。
- 過剰包装の削減を徹底します。

#### 事業経営・従業員における配慮

##### 経営

- 環境マネジメントシステムを導入するなど、環境保全のための体制づくりや仕組みづくりに取り組みます。
- RE100 プロジェクトや再エネ 100 宣言 RE Action への参加に努めます。
- CO<sub>2</sub> 排出量の少ない電気を選ぶなど、再生可能エネルギーの利用に努めます。
- 生物多様性に配慮した事業活動を行います。
- 環境を保全するための管理体制を構築し、規制を守るとともに汚染物質の排出を抑制します。
- 廃棄物の管理や適正処理を徹底します。

##### 従業員の行動

- 従業員の熱中症対策に取り組みます。
- 食品ロスを出さないよう、食べ残しなどを減らします。
- 紙の使用量を把握し、資料のデータ化、両面印刷や裏紙利用など、紙の使用を減らします。
- 従業員にマイボトルの持参を推奨します。

##### 移動

- 公共交通機関や自転車などを利用したエコ通勤を推奨します。
- 電気自動車などの低公害車を導入します。
- 車利用時はエコドライブを実践し、自動車の適正な管理と使用削減に努めます。

##### 社外活動

- 社内・社外で環境学習の機会をつくります。
- 地域の環境保全活動や市が実施する施策に積極的に協力・参加します。